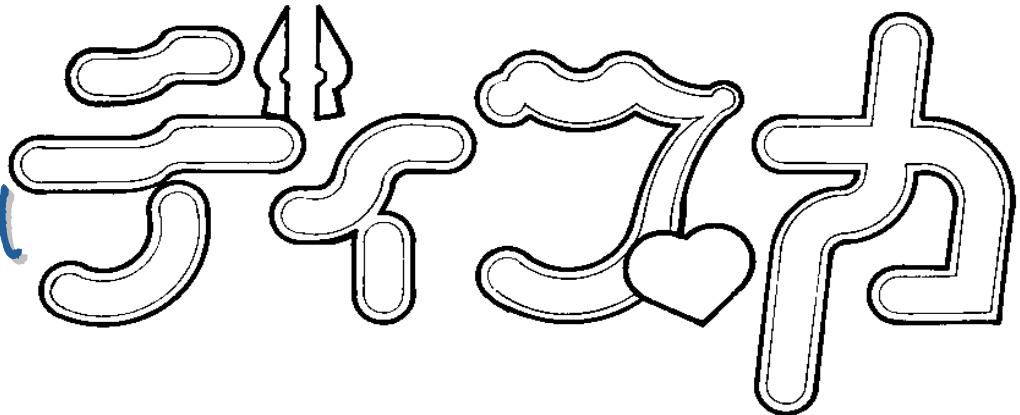


月刊
JMITU



「言問橋」残された黒い痕跡

3月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部
セガ グループ分会 2025年発行

No.483

25年春闘回答

3月5日私達労働組合J.M.I.T.Uの春闘指定回答日でした
が要求を提出したセガ及び
SLSからは、有額回答はあり
ませんでした。まだ決算がしま
せんでした。つてない状態で判断ができな
いという両社の回答でした。

セガ回答

セガ回答

業績を考慮してB.P達成でき
そうで、前期の利益より増益さ
れているので夏の賞与に反映さ
せる。過去の改定で賞与1カ月
分は月額給料にのせているの
で、実質4か月分といつてもよ
い。その他諸要求については基
本的に考え方には相違がある。今
会社から要求に応じられるこ
とはない。

賃上げ一般平均は6095
円試算値では、賃上げ率1・7
5%毎年上がる制度ではない
ので是認が上がるわけではな
いが理論値での回答です。

SLS回答

SLSは26日に2回目の
回答「前回要求に対する回答が
できていなかつたので回答い
たします。

2月も締まり今期は事業計
画を上回ることはわかつてい
るので会社としては、

SLS回答

本人給	728円
評価給	2434円
合計	3162円
ベースアップ一律	4000円
調整給に加担する。	
合計	7162円
賃上げ率(2.01%)	
平均年齢	45歳3か月
夏季一時金について	
報酬制度改定で説明しましたが、0.5は月額基準内に入っている。	
係数2.2	
(昨年基準の2.7相当)	
その他、設立30周年という事で係数0.8をプラスし合計係数3.0」を支給する。	
一般層平均	108万円
その他付帯要求には応じられない。組合要求にはない要望に	

係数 2.2 (昨年基準の2.7相当)
その他、設立30周年という事で係数0.8をプラスし合計係数3.0」を支給する。

について、マイカー通勤の申請時に使用する運転記録証明代金は、今年より会社負担とする。退職金の金額（ライフプラン手当後払い）を確認できるように勤怠メニューに追加した。」組合としては、ベースアップをするのであれば、評価給テーブルの底上げができないのか、30周年で一時金にプラスするのには良いが、正社員のみだけでなく、そこで働く、高齢者再雇用者の方やアルバイト、パートへも支給するべきではないか、検討してくれというところで今回は終わりました。

自助努力

仙洞田一彦

だ。

外壁のモルタルも、かつて輝くばかりのクリーム色だったが、今はうつすらとほりが積もったような感じで、灰色がかって見える。同じころ建てた両隣も、奥にある家の壁も同様だ。同様と言えば住んでいる人間も、私と同じ七十代。うちは爺の一人暮らしだが、隣近所も似たようなもので老夫婦や一人暮らし。

付近は住宅街だが、七〇年代にさかのばれば、工場と住宅が混在し、やがて工場が姿を消して行き、建て替えられたりして住宅ばかりとなつた。住んでいる人が若いと、住宅もなんとなく若く見えるもの

も土ばかり。以前は今頃の季節になれば花をつけていたが、といつても何の花だったのか思い出せない。花の咲いている植木鉢なら、住む人の若さも感じられるが、土ばかりの植木鉢では花も咲かない人、すでに枯れてしまつた人が想像される。

三時ごろには介護士さんが来る予定だ。正確には何と呼ぶのか知らないが、私は介護士さんと呼んでいる。前の介護士さんが辞めて、今日から新しい介護士さんが来るといふ。

以前は寝室が二階にあつたけど、階段の上り下りが不自由になつたので、一階の部屋

に並べて置いてある植木鉢あるいは歩行器を使う。

まさかこんな生活を送るこになるとは、想像もしていなかつた。妻は亡くなり、子供がいるにはいるが、それぞれに家庭を持ち独立している。

に移した。私は部屋の壁伝いに歩くか、杖を突いて歩く。自分の努力と比較しながら眺めてしまう。

玄関が開く音がした。その前に呼び鈴が鳴るはずだが、それは聞こえなかつた。ガサゴソと少し物音がして、

「こんにちは」

と言い、開けつ放しのふすまのかげから顔が出た。女性の年齢はわからないが五十歳くらいだろうか、丸顔で、目は大きくぱっちりして、髪は

短い、元気そうな女性だ。介護してもらうのだから元気な人でないと困る。

続けて自己紹介らしくいろいろと言つたが、早口なうえに、意外に小さい声で何を言つたか分からぬ。前任者によつて得られたものだと、その地位を得た。自分の努力によつて得られたものだと、断言できる。机の前に座ると、どうしても部下一人一人を、

てている。何度も聞き返すのも煩わしいので、ほとんど聞き流している。

「それではお仕事をさせていただきます」

と言つて、介護士さんは姿を消そうとした。

「その前に買い物をしてきてもらいたい」

慌てて私は言つた。介護の仕事は食事作りと洗濯だが、今日は孫の誕生祝の品を買い、送る手配をしてきてもらおうと思つたのだ。

「思い立つたら一日でも早くと考えてね。食事や洗濯は今日でなくともいいんだが」

私の言葉に介護士さんは、ちよつと考へるふうにやや顔を俯けた。それから顔を元に戻して言つた。

「買い物にご一緒するならいい

いかもしませんが、私一人で買い物に行くのは、いけないんじやないかしら」

そう言い、「事務所に電話して聞いて見ましょか」と続けた。

「いや、だつて、私は介護保険料を払つていてるんだよ」

「みんな払つてます」

すぐに強気な返事が来た。

さらに続いた言葉は、やや推測を含んだような、どちらかといえば確信がなさそうな言

い方だつた。

「ええとですね、自立支援：

…自立されるのを助ける…

だからお手伝いさん風に、ご

本人に代わつてするのではなく、ご本人が自立できるよう

にですね…援助、あくまで支援、援助ですね。ご本人の運動能力回復のために、買

物にご一緒するならいいのです。自立が目的ですから

もたもたしていると介護時間がなくなってしまう。のん

びりとはしやべつていられな

い。それにしてもこの介護士さんは、以前どこかで会つた

ことがあるような気がする。そう思ひながら、答えた。

「自立支援と言つたつて、こ

んな雨の日に、カツバを着て、一緒に買い物に行けというのかね。ただ歩くことできえ、

大変な私なんだ」

「家に閉じこもつてしまうと

ですね、だんだん体力が衰えてですね、だんだん体力が衰えてですね、そのうち寝つきりになってしまいます。そういう

私には、部長の自立を応援、助けると言つてるんですよ

何十年か前の女性と、目の前の介護士さんがダブつて、私の前に立つていた。

私も焦つてきた。議論して

いるうちに介護時間が終わつてしまいそうだ。買い物どころか、食事、洗濯もフイにな

る。声を張り上げた。

「私は介護を受ける側です」

すると、もつとでつかい声

が返つてきた。

「部長。部長は私がパワハラ、セクハラを受けて、助けてく

ださいと相談したとき、何とおつしやいました。自助努力。自分で努力して解決するんだ。

自己責任だ。そうおつしやいましたよねえ。人に頼つたり、団結するなんてのは時代遅れ。

そうも言いましたよね。でも私は、部長の自立を応援、助けると言つてるんですよ

支援、援助ですね。ご本人の努力です。私はその努力を応援します